

(別紙4(2))

## 目標達成計画

事業所名 認知症高齢者グループホーム 宇賀の里 楽舎

作成日: 平成23年 2月 23日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の家族参加が少ない。	運営推進会議に今よりもご家族の参加が増える。	会議で話し合われた内容をご家族へおたよりとして送付し、分かりやすくする。参加しやすいように、ご家族の希望や要望など(出やすい日)引き続きお聞きし、参加を呼び掛けていく。	6ヶ月
2	35	火災訓練は行っているが、地震、豪雪、停電などの災害訓練の実施記録がない。(マニュアルはあり)	次回訓練時は、地元消防団や近隣住民の方も一緒に参加しての訓練を計画している。	楽舎役員へも停電時など非常時の協力お願い済み。(近隣住民)避難場所であるコミュニティセンター館長へも緊急連絡先の確認・連絡網の確認、協力体制など話済み。	6ヶ月
3	36	言葉遣いについて、外部より年長者に向けた言葉遣いとして違和感がある事がある、と指摘あった。	誰が聞いても違和感のない言葉遣いを徹底。	職員間でよくよく話し合った。職員全員が、利用者に対し、年長者としての敬う気持ちを持って日々接していることを確認した。愛称で呼ばれている方もおられるが、それはご本人の希望であり、ご家族も了承されている。出雲弁を使ったりするのも、支援のうちのひとつであるとの結論になったので、必ずしも全て当てはまるものではないとして、「楽舎らしさ」も大切にこれからも続けていく。しかし、外部の目・利用者の尊厳も日頃から常に頭に置いて気を配っていきたい。	1ヶ月
4	52	玄関から、駐車場までの距離(約20M)に屋根がなく、通院や外出時、天候が悪い時に屋根があるといいとの意見がある。	会社役員に相談。	日頃から(天候が悪くなくとも)外出される場合、職員が必ず車まで一緒に付き添い、傘をさしたり、乗車の介助を行うなど、配慮している。出来る範囲での工夫を行っている。	6ヶ月